

## 私たちの生活と水

亀甲 翔太

水巻町立 伊左座小学校

目の前にある、ビンの中にある黒いかたまり。近づいて、におってみる。「うわっ、くさっ。」と思い、しばらく息をとめていた。これが、「だつ水ケーキ」といい、下水処理場で発生する、よごれたどろをかためたものだ。さらに、びっくりしたのは、このよごれを食べる「カッセイクン」がいるということだ。顕微鏡で、「カッセイクン」を見ることができた。そっと顕微鏡に目を近づける。「なにか、くねくねと動いている。」「この動いている生き物が、「カッセイクン」だ。「カッセイクン」の正体は、みかづきもやくま虫などの生き物だった。この小さな生き物が、ぼくたちが使った水をきれいにしていることを、下水しより場の方から聞いた。さらに「カッセイクン」は、もともと川などで生活をしていて、昔から、川に流れてきたよごれた水をきれいにしていたそうである。自ぜんの中にある、水をきれいにする仕組みを下水しよりに使うところが、すごいと感心した。

しかし、「カッセイクン」がきれいにすることができない物も流れてくるそうだ。その一つが、ティッシュペーパーである。ペットボトルの中に水とティッシュペーパーを入れる。もう一本のペットボトルには、水とトイレットペーパーを入れる。二本とも、おもいきりふる。すると、トイレットペーパーの方は、小さくバラバラになっているのに対し、ティッシュペーパーの方は、かたまつたままなのである。同じ紙のように思っていたが、水の中では、まったく別のものにな

っていた。このことから、トイレにティッシュペーパーを流したらいけないことがわかった。下水しより場の方は、下水で流れてくるゴミを手作業で取っていることを聞いた。ぼくは、その時、「ぜったいにティッシュペーパーやゴミを流さないようにしよう。」と思った。これからの生活で、ぼくは二つのことをがんばろうと思う。一つ目は、ぼくが学んだことを、家族やまわりの人に伝えること。二つ目は、水を大切にすることだ。下水しより場の方は、私たちがよごした水をきれいにし、自然の中へ返している。そのおかげで、ぼくたちは安心して生活ができています。だから、ぼくは水を大切にしていきたい。